

## 第8回（5月）「中国の制度と環境問題」

石井夏月

今月の研修員だよりでは、日本とは違う中国の制度や、環境問題について紹介していきたいと思います！

まずは環境問題について紹介しようと思います！雲南省には海がなく、雨もあまり降らないため慢性的な水不足が続いている地域の一つです。この水不足により水力発電にも影響が出ているという話も聞いたことがあるのですが、普段生活している中で特に目に留まるのは「水を大切に使うように」という張り紙です。大学の寮内の壁であったり、大学内・外の公共施設内のトイレであったりと必ずと言っていいほどこの張り紙がはってあります（写真1）。日本ではこのような張り紙がないわけではないですが、必ず見かけるといわけではないのでこの張り紙の多さにとても驚きました。またこの節水を呼び掛ける張り紙とセットと言っていいほど一緒に見かけるのが「紙も節約して」という張り紙です（写真2）。



写真1 節水を呼び掛ける張り紙



写真2 紙の節約を呼び掛ける張り紙

そして街中や、学校内にも多くの植物が植えられています。私がとても驚いたのは、この植えられている植物がとても大切に育てられているということです。昆明市に植えられている多くの木の根元は白く染まっています（写真3）。これは、木を冬の寒さと虫から守るために塗られているようです。ある一定の期間が立つと業者の方が何日もかけて一本一本丁寧に塗りなおします。また寒さ対策はこの白い薬を塗るだけでなく、植物自体を薄手の布のようなもので覆うという方法もあります（写真4）。業者の方が植物を覆っている様子を見て、私は初め何をしているのか全く見当がつかなかったです。先生から、「あれは冬の寒さから守るためにしている」と聞いたときはとても驚きました。ですが、何より驚いたのが街中でこの植物の保護作業をしていた方は全員ボランティアとして活動していた、ということでした。（学内は防犯対策のため、敷地内に入れる人の管理を厳重に行っておりボランティアの方ではあ



写真3 根元が白い木

か全く見当がつかなかったです。先生から、「あれは冬の寒さから守るためにしている」と聞いたときはとても驚きました。ですが、何より驚いたのが街中でこの植物の保護作業をしていた方は全員ボランティアとして活動していた、ということでした。（学内は防犯対策のため、敷地内に入れる人の管理を厳重に行っておりボランティアの方ではあ

りませんでした。) ボランティアの団体だけで、街中の数えきれないほどの植物を一本一本手作業で薬を塗り、布を覆っていく姿を見て、一人一人の環境を守ることへ対する思いが強いと感じました。また、大学内の木が植えられている部分の地面の多くは芝生でおおわれているのですが、この芝生は絶対に踏んではいけません！ うっかり芝生の中へ入ろうとすると校内の保安官の方に踏むなと怒られてしまいます。雲南大学へ来る際は、芝生を踏んでしまわないように気を付けてください！



写真4 布で覆う様子

次に、中国の制度についてです！制度というほどではないかもしれませんが、日本とは違うなとよく感じるのはやはり街中の様子です。どのように違うのか、というと街のいたるところに監視カメラが見える形で設置されている、ということと社会主義核心価値



写真5 車道上のカメラ

観と呼ばれる中国共産党のスローガンが大きく掲げられていることです。まずは監視カメラについてですが、歩道には歩道用のカメラ、車道には車道用のカメラと多くのカメラが等間隔で設置されています(写真5)。歩道の場合は数十メートル間隔で、車道の場合は、信号機とほとんど同じ間隔になります。このため、交通違反があった場合すべてカメラに収められることになります。違反をした場合、スピード違反をした場合などはカメラに収められた映像から車のナンバーを確認し、登録されている電話番号へメッセージが送られます。携帯電話が普及していないころは、写真とともに登録している住所へ書類が送られます。違反した場合の罰金を払っていない場合は、自動車検査登録制度、いわゆる車検を受けられないそうです。

次に、中国共産党のスローガンについてです。街中の建物の目立つところに必ず、富強・民主・文明・和諧・自由・平等・公正・法治・愛国・敬業・誠信・友善の12単語が掲げられています。そして、雲南省には少数民族が多く住む地域が色々なところにあるのですが、その地域には民族の言語を用いたバージョンのものが掲げられています(写真6)。初



写真6 少数民族の言語が使われているスローガン

めて見た時はとても衝撃的だったのですが、興味深かったです。皆さんもぜひ、少数民族の居住地に訪れた際は、その地域にしかないスローガンを探してみてください！